

熊本市立大江小学校

# ときめき

2023.9.20(水)  
No. 60  
文責  
松永

## 体験を通して学ぶことがいっぱいです！～図工や生活科の学習から～

先週、運動場の南側にある砂場で、1年生が図工の「さらさら だろだろ」の授業が行われていました。砂を固めたり、穴をほったり、水を流したりしながら造形活動をしていました。近くに見に行くと、「校長先生、こんなにほりましたよ」「もっと高い山を作るんだよ」と、説明してくれました。中には、水の流れる道を作っている子どももいました。友達と一緒に作業をする中で、いろいろとアイデアが広がっていくようで、バケツを手に水を汲みに行ったり、盛った土を手でとんとたたきながら固めたりと、集中して作業を進めていました。いきいきとした表情で作業を進めていました。砂場一面が、大きな作品となっていました。



## 1年生の生活科「水であそぼう」の学習より



1学期には、生活科の授業「水であそぼう」の学習が行われていました。マヨネーズや洗剤などの空き容器、やわらかいペットボトルに水を入れ、その容器を思い切り押すと、ビューッと水が飛び出します。運動場の遊具やネットに設置された的を目標に、うまく当たるようにと試行錯誤している姿が見られました。何度も水を入れに行き、勢いを加減しながら取り組んでいました。「校長先生、ほら見て！」と言いながら、容器に力を入れて見せてくれる子どももいました。



もう一つ…シャボン玉を作って遊ぶ活動も行っていました。たらいに準備されたシャボン液を、ストローやうちわの枠（紙の部分を外した状態のもの）につけて、吹いたり振ったりすると、キラキラと光るシャボン玉ができていました。「校長先生、見てください」という声の方を向くと、大きなシャボン玉を作っていました。いろんなやり方で、大小様々なシャボン玉を作って楽しんでいましたが、お日様の光と重なるとキラキラと、とてもきれいでした。1年生の元気いっぱいの声が響いていました。

